

この取材レポートでは、各務原市まちづくり活動助成金 令和4年度事業の活動の様子をご紹介します。
 令和4年度交付事業 … <スタート助成>1年目：1事業/2年目：2事業<まちづくり助成>1年目：3事業/2年目：1事業

7月5日(火)



7月10日(日)



団体名 スコーレ各務原 **スタート助成2年目**

事業名 子育て・親力アップセミナー事業

事業概要

子育て中の家庭の養育者を対象に、これから育てていく子ども達の健全な育成を目指して、広く子育て講座やセミナーを開催して家庭のあり方を伝え、必要に応じてサポートしていく。

事業費総額：151,500円／交付決定額：50,000円

主な経費内容 交通費、ポスター、チラシ、コピー代、感染症対策消耗品、会場使用料、情報誌掲載広告料、リモート配信機材レンタル代

団体名 創作オペラ「貞奴」プロジェクト **まちづくり助成1年目**

事業名 地域文化芸術レガシーの承継と新たな挑戦：村国座・皆楽座を活用した第1回貞奴芸術祭の開催事業

事業概要

世界で活躍し日本の近代舞台芸術の先駆けとなった、各務原ゆかりの川上貞奴を顕彰して、各務原内外の音楽家・愛好家と共に芸術祭を開催する。会場は使用可能な形で修復されている明治時代に建てられた二つの農村舞台を活用。各務原の新たな魅力的なコンテンツの創出へ向けて第一歩を踏み出す。

事業費総額：872,800円／交付決定額：300,000円

主な経費内容 出演者謝礼、チラシ印刷代、資料印刷代、事務用品代、通信費、振込手数料、チケット販売手数料、公演時会場使用料、練習・会議時会場使用料

7月5日(火)10:00~11:30、那加福祉センター集会室において、中学生までの子どもの養育者を対象にしたセミナー「未来がもっと輝く！子どもの心に自信を育てる！～個性を伸ばす子育て～」が開催されました。

会場はスタッフ17名により準備され、会場観覧とZoomでのライブ配信を併用し、会場18名・オンライン14名が観覧しました。セミナーでは、公益財団法人スコーレ家庭教育振興協会 講師である脇谷秀美さんが、自己肯定感・共感をキーワードに、子どもが本来の力を発揮できる「本物の自信」を育むために家庭でできることについて講演。自己肯定感を育むために、既に兼ね備えている長所を見つけて伝えていくことが有効とお話されました。

7月10日(日)、皆楽座において、「第1回貞奴芸術祭～清流編～」が開催されました。会場は、市文化財の「皆楽座」。午前の部・午後の部の、各回定員35名のチケットは事前に完売し、当日も体調不良等による数名の欠席があったものの満席に近い状態で、公演への期待の高さを感じられました。

来場者は市内のほか、県外遠方からも多く、貞奴への興味という共通点を通して来場者同士の交流も自然に行われました。「皆楽座」という場所が、このような公演に活用できるということに驚き、興味を抱く声もありました。

代表の金光さんは、「助成金が得られたので、このような規模で芸術祭を行うことが可能になり、手の届きやすい価格で市民の方にお届けできた。これをきっかけに、皆楽座が文化芸術の舞台として活用できることを知ってもらい、市内の文化芸術のますますの発展に繋がれば」と話されました。

6月29日(日)



「まちづくり活動」とは？

広く市民に開かれ、地域課題解決に向けた取り組みを行う、自主的かつ公益的な活動をいいます。まちづくり活動によって、地域が元気になり、活動者自身もその効果を実感できる取り組みを想定しています。

ご活用ください！まちづくり活動助成金

活用相談、随時受付中！

条件を満たす活動は、助成金の対象となる可能性があります

[助成対象団体]

- 市内でまちづくり活動を行っている
(NPO法人の場合主たる事務所が各務原市内にある)
- 定款または規約、会則を有している
- 構成員のうち5人以上が各務原市民(在勤・在学を含む)

[助成対象事業]

- 市内で実施される
- 広く市民に開かれている
- 地域や社会に貢献するまちづくり活動
- 当該年度の助成金実施期間中に自ら企画運営・実施する
- 各務原市から他の補助金・交付金などを受けていない
- 営利目的でない
- 宗教の教義を広めたり、儀式行事を行ったり、信者を教化育成するものでない
- 政治上の主義を推進、支持、反対するものでない
- 特定の公職の候補者や公職にある者または政党を推薦、支持、反対するものでない
- 暴力団または暴力団員もしくはこれらと密接な関係を有するものが関与していない

■□■□ 助成金は以下の2種類！ ■□■□

設立後3年未満の団体向け

設立後3年以上の団体向け

スタート助成

1年目
助成率:対象経費の2/3
限度額:100,000円
または(総事業費-事業収入)

2年目
助成率:対象経費の1/3
限度額:50,000円
または(総事業費-事業収入)

まちづくり助成

1年目
助成率:対象経費の2/3
限度額:300,000円
または(総事業費-事業収入)

2年目
助成率:対象経費の1/3
限度額:150,000円
または(総事業費-事業収入)

詳細はお気軽に、まちづくり推進課でお問い合わせください。

団体名	ミニ SL 各務原	まちづくり助成1年目
事業名	ミニ SL による三世代交流再開事業	
事業概要	市内の地域三世代交流を目的に、市内の保育園・幼稚園児にミニ SL に楽しく乗車していただく事業。	
事業費総額	479,969 円 / 交付決定額: 300,000 円	
主な経費内容	レール消耗品、枕木、石炭、スチームオイル、事務消耗品、保険料、缶バッチ作成委託料、チラシ印刷委託料、デザイン費、リアモーターカー備品、SL (マウンテン) 備品	

ミニ SL 各務原は、7月17日(日)に川島緑町みんなの広場において予定されていた三世代交流イベントに協力し、子どもたちにミニ SL に乗車していただく予定でした。

連日の雨により線路を敷くための環境が整わず、残念ながら中止となってしまいましたが、イベント前6月29日(水)には、拠点とされているガレージで、団体メンバーの荻谷さんが、子どもたちの笑顔を思い浮かべながらミニ SL などの車両を整備し、運行の準備をされる姿がありました。

ミニ SL などに使われる部品の一つ一つは、ほとんどが、パーツから手作りされたもの。土台になる牽引車両は購入されたものですが、狭い敷地でも運行ができるよう車輪を減らしたり、乗車時に足を置く場所にバイクのパーツを使ったりと、様々な工夫を重ねられています。

団体では、今後も整備をしながら、三世代交流の場において子どもたちに乗車してもらおう機会を楽しみに、イベント運営団体や保育園などからの依頼を待っています。

各務原市役所 市長公室 まちづくり推進課 (産業文化センター6階)

電話 058-383-1997 メール machidukuri@city.kakamigahara.gifu.jp

各務原 まちづくり活動助成金

検索

市ウェブサイトでも、この取材レポートをご覧いただけます。市ウェブサイト➡ <https://www.city.kakamigahara.lg.jp/>

ホーム > くらし・手続き > 市民活動・まちづくり活動・自治会 > まちづくり活動 >

まちづくり活動助成金 > 令和4年度助成交付事業 > 令和4年度交付事業取材レポート

